ASAKUSA
DAN
PRESS 119
第68号
2026年
5月31日発行
協力
浅草消防署
編集発行
浅草消防団
TEL
03-3847-0119

浅草消防団長　西井　敏彦　就任
令和八年度　浅草消防団可搬ポンプ操法審査会開催

わが町をわが手で守る消防団

東京の消防団のスローガン

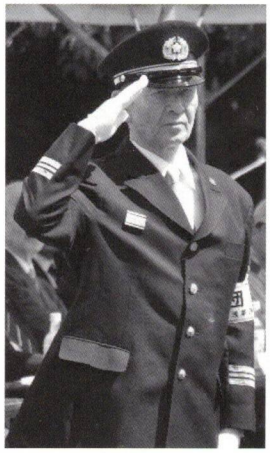
就任の挨拶
浅草消防団長　西井　敏彦

本年四月、浅草消防団長を拝命いたしました。その責任の重さに、身の引き締まる思いでございます。

前任の桝田賢二団長をはじめ、歴代の先輩方が長年にわたり築き上げてこられた輝かしい功績を汚すことなく、誠心誠意、職務に邁進してまいる所存でございます。

私どもの地域には、古くからの情緒ある街並みが広がり、浅草神社例大祭（三社祭）・鳥越神社例大祭・東京マラソン・隅田川花火大会など、数多くの伝統行事が息づいております。万が一、火災が発生すれば甚大な被害につながりかねません。このかけがえのない街と人々の暮らしを守ることこそ、消防団に課せられた最大の使命であると深く認識しております。

今後の抱負として、三つのことに力を注いでまいります。一つは、団員一人ひとりの技術向上と、地域皆様との絆をさらに深めること。二つには、団員の入団促進と、次代を担う人材の育成に取り組むこと。三つには、団員同士の連帯を強め、消防職員との連携・交流をより一層深めることでございます。消防団の活動は、地域の皆様のご理解とご協力があってこそ成り立つものでございます。全団員が一丸となり、これからも全力を尽くしてまいる所存でございます。どうか引き続き、温かいご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

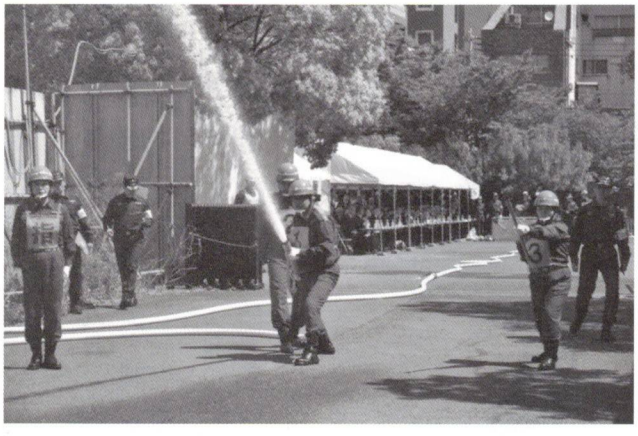

西井団長

操法審査会を終えて
団本部　佐久間　明男

四月二十六日 東京都下水道局にて、浅草消防団可搬ポンプ操法審査会が開催されました。三月初旬より審査会前日まで、各分団それぞれの訓練場所にて、猛訓練を行っていました。結果、優勝は第三分団、準優勝は第二分団になりました。今回、どの分団も昨年より減点が十点ほど減っており、各分団の点数差も少なく、どこが優勝してもおかしくはありませんでした。そんな中、特に第三分団は行動減点が、前年より二十点も減少していたため、それで優勝できたのかなと思います。

また、今まで団本部の団員は、それぞれの出身である分団の支援が中心でしたが、今回からは手薄な分団の支援に行ったり、前回の都大会の強化選手がコーチを行ったりと、分団の垣根を超えた交流が全体のレベルアップにつながったと思います。期間中、訓練場所の近隣の皆様、数々のご迷惑をおかけしましたことお詫びいたします。地域とのつながりが団員一同、大切だと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

第三分団


第二分団

裏面へ続く